

# 奈良県立磯城野高等学校

## Flowers



高校生ボランティア・アワード2022

### コロナ禍における 福祉交流花壇の設置 —バタフライガーデンの普及と合わせて— 活動概要

私たちの住む奈良県磯城郡田原本町には、まだまだたくさんの生き物がいて、豊かな自然が残っています。私たちはコロナ禍で校外で活動ができない間、校内でできる活動として生き物調べを行ってきました。そして、校内には**770種**もの生き物がいることが分かってきました。奈良県レッドリストに記載されているものが**28種**、また奈良県野生生物目録に記載されていない県初記録となる可能性のあるものが**23種**、見つかりました。

また、生き物いっぱいの田原本町を実感してほしいと思い、蝶が集まる**バタフライガーデン**を私たちの学校の最寄り駅である**近鉄西田原本駅**に作っています。そして、新型コロナウイルスの感染が少しおさまり交流が認められると、そのチャンスを活かし、近隣の**幼稚園**や**小学校**にもバタフライガーデンを作っています。しかし、せっかく作ったバタフライガーデンも新型コロナウイルスの感染拡大による**休校で管理ができなくなる**こともありました。近隣の幼稚園や小学校も**休校期間中は管理がたいへん**だと話を聞きました。そこで、私たちは一緒に作業をしないのであれば**コロナウイルスの感染リスクも減るので、家にいる地域のお年寄りの方に管理をお願いできないか**と考えました。**コロナ禍で外出の減ったお年寄りの方の健康増進**にもつながります。

そこで、**田原本町地域包括センター**と**田原本町社会福祉協議会**にこの「福祉交流花壇」を提案しました。コロナ禍で町内でもお年寄りの外出が減っていることから、**全面協力**してくださることになりました。現在、**近鉄西田原本駅の花壇で話が進んでいる**ところです（いよいよ**7月から開始**）。また同じような「福祉交流花壇」が他でもできるように私たちの**学校から1 km以内**で適した場所を数か所見つけ、相談しているところです。

そしてさらに幼稚園や小学校も園児や児童が登校しない長期の休みの時等はバタフライガーデンの管理がたいへんと聞いていますので、この時期だけ**期間限定の「福祉交流花壇」**にできないか、提案しています。



田原本町地域包括支援センターと田原本町社会福祉協議会の前でアイデアをプレゼン



バタフライガーデンの整備



ミズミズ糞土を投入し、土壌改良



ちようちよランドの塚本郎さんと

### SDGsプロジェクトの発展 活動の目的・志など



コロナ禍で家に引きこもりがちとなっていたお年寄りが「今日、することがある。」「今日、行くところがある。」「花壇に行って、水をやり、草を抜いて、ほっと一息ついて花や蝶を見る、そんな「福祉交流花壇」を目指しています。



街角に彩りを与え、人々の心を癒やし、時には「この花何だろう。」と会話のきっかけになる、そんな「福祉交流花壇」を目指しています。



花壇の土壌を良くするために、企業廃棄物を有効活用しています。梅乃宿酒造の廃棄酒粕やワキ製薬のミズミズ糞土で土壌改良、更にはハウス食品の麻袋をプランター代わりに使用、リサイクルを考えるきっかけになる、そんな「福祉交流花壇」を目指しています。



田原本町にはたくさんの生き物がいて、まだまだ豊かな自然が残っています。蝶が集まる吸蜜植物や食草を植え、蝶から生物多様性を考えてもらう、そんな「福祉交流花壇」を目指しています。



私たちと地域のお年寄りや子どもたちが、コロナ禍で直接顔を合わせられなくても一緒にできる、そんな「福祉交流花壇」を目指しています。

### 一石三蝶！ 私たちのアイデアが田原本町地域包括支援センターや田原本町社会福祉協議会に届いた！

#### 私たち

- **バタフライガーデンの普及**
- **蝶をきっかけに生物多様性の普及**
- **苗の提供**
- **販売先の確保（農業高校は売らないといけない）**
- **高校で学んだ専門知識技術の活用**



#### お年寄り

- **健康増進**
- **毎日することがある。行くことがある。**
- **経験の活用**
- **農園芸に関わっていた方もたくさん。専門知識技術を活用し、さらに私たち高校生にもフィードバック**



#### 福祉交流花壇

#### 子どもたち

- **学びの場**
- **植物の勉強、昆虫（蝶）の勉強に使える。**
- **蝶と花から生き物のつながりを実感する。**
- **社会参加のきっかけ**
- **子ども会等を通じ、学校外にある花壇の整備ができれば...**



### コロナ禍がおさまれば

#### 横のつながりをまず復活したい

卒業した先輩が取り組んでいた**花育活動**を福祉交流花壇を使って復活したいです。お年寄りや子どもたちと一緒に作業するのはもちろん、花壇を活用した**蝶の観察会**や花を摘んでの**押し花づくり**等、色々と考えています。



### SDGsプロジェクトの集大成へ

#### 河川堤防の法面緑化をバタフライガーデン福祉交流花壇方式で取り組みたい

ハウス食品の工場が出た**使用済み麻袋**を活用した河川堤防の**法面緑化**を考えています。校内での予備実験から考えていることは以下の通りです。麻袋を横にして使った栽培については、**ハウス食品グループ本社のWebページ**でも紹介されています。

- 麻袋の中に用土を入れ、口を縫い、**横**にして使います。<https://housefoods-group.com/csr/ecology/waste/index.html>
  - 横にした麻袋の**上面に穴**をあけ、植物を植えます。
  - 植物は、バタフライガーデンに使う**吸蜜植物**のうち、**宿根草**もしくは**低木**を使用します。また、**在来種**を使いたいと考えています（予備実験ではブッドレアを使いましたが、これは外来種なので本番では使わない予定です。）
  - 用土は、学校で作っている再生土と堆肥、梅乃宿酒造の**廃棄酒粕**、ワキ製薬の**ミズミズ糞土**を混ぜ保水性を高めています（法面は水やりができません。）
  - 水やりができないので、根付くまでの間の水不足を避けるため設置は**梅雨時期**に行います。
  - 日頃の管理は、その**地域のお年寄りの方**にお願いします（ただ斜面なので足腰が丈夫な方限定となってしまいます。）また堤防や河川敷を**ウォーキング**や**ランニング**に使っている方も多いので、力を借りるのもいいのではと考えています。
  - 植える植物は宿根草や低木なので**定期的**に**整枝**が必要です。時期を決め、花は適当に摘み取り、**切り花**として持ち帰ってもらうようにします。
  - 麻袋は**草がほとんど生えてきません**。ただ麻袋が腐り出すと草が生えると思いますので、その時は改めて麻袋を根本に敷くようにします。
  - 麻袋のおかげで堤防の**土壌流出**を避けることができるのもメリットと考えています。
- 将来は、**大型の福祉交流花壇**のようにしたいと考えています。



#### 活動団体プロフィール

**結成5年目**のまだまだ新しいチームです。結成時のメンバーは施設園芸科だけでしたが、活動が広がり、今は、他学科のメンバーもいます。**バタフライガーデン**や**福祉交流花壇**以外にも様々な活動も行っています。理科部のメンバーがほとんどなので、**SDGs15「陸の豊かさを守ろう」**に関する取組にも力を入れています。今は、**奈良県絶滅危惧種ナガオカモノアラガイ**の**県下最大の繁殖地**が校内で見つかったこともあり、この貝の**生活史**をみたり、**3倍体で種子ができない**といわれている**ヒガンバナ**から**総性のある種子を奇跡的に見つける**ことができたので、現在、**鱗茎の形成の様子を観察**しているところです。また、栽培に関する**新技術の開発**も行っています。「**振動による発芽促進**」や**押し木**ができないといわれている**ナラノヤエザクラの押し木繁殖**についても研究を進めています。  
<http://www.e-net.nara.jp/hs/shikino/index.cfm/1,0,58,188.html>